

39

ハンディタイプ GP

この章では、ハンディタイプ GP でのファンクションキーの設定について説明します。まず「39.2 設定メニュー」(39-4 ページ)をお読みいただき、目的に合った説明ページへ読み進んでください。

39.1	ファンクション機能について	39-2
39.2	設定メニュー.....	39-4
39.3	ハンディタイプ GP にファンクションキーを設定したい	39-5
39.4	ハンディタイプ GP にすべての画面で共通のファンクションキーを設定したい	39-8
39.5	ファンクションキーの動作.....	39-11
39.6	設定ガイド	39-12
39.7	制限事項.....	39-14

39.1 ファンクション機能について

ハンディタイプ GP のファンクションキーには、スイッチ部品やキー部品の機能が割り付けられます。画面に配置した部品にタッチする代わりにファンクションキーを押すことで GP の操作ができます。ファンクションキーにはローカルファンクションキーとグローバルファンクションキーがあり、ローカルファンクションキーは設定した画面のみ、グローバルファンクションキーは全ての画面に共通で使用できます。

39.1.1 対象機種

AGP-3300HL

AGP-3300HS

AGP-3310HT

39.1.2 ファンクションキーに設定可能な部品

ファンクションキーに設定できるスイッチ / キー部品は次の通りです。

分類	設定できる機能	動作	備考
ビットスイッチ	ビットセット	○	
	ビットリセット	○	
	ビットモーメンタリ	○	
	ビット反転	○	
	比較	○	
ワードスイッチ	データ書込み	○	
	データ加算	○	
	データ減算	○	
	桁加算	○	
	桁減算	○	
	演算	○	
画面切替	画面切替	○	
	前画面に戻る	○	
特殊スイッチ	ウィンドウ表示スイッチ	○	
	アラーム履歴用スイッチ	○	
	テキストアラーム用スイッチ	○	
	ヒストリカルトレンドグラフ用スイッチ	○	
	サンプリングデータ表示用スイッチ	○	
	ファイル項目用スイッチ	○	
	ファイルマネージャ表示用スイッチ	○	
	データ転送用スイッチ	○	
	CSV表示器用スイッチ	○	
	動画表示器用スイッチ	○	
	モニタ起動スイッチ	○	
	アプリケーション起動	○	
	WinGPの終了	○	
	RPAウィンドウ表示スイッチ	○	
	リセット	○	
	オフライン	○	
	セキュリティ	○	
	セレクトリスト用スイッチ	○	
	接続機器データ転送	○	
セレクトスイッチ		○	
キー	キーボードキー	○	
	FEP機能キー	○	

スイッチ共通設定

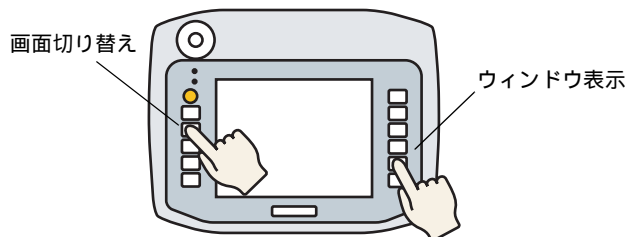
ファンクションキーに設定できるスイッチ共通設定は次の通りです。

分類	設定できる機能	動作	備考
スイッチ	グループ機能	○	ビットスイッチのみ設定可能です。
	階層画面切替	○	画面切替スイッチのみ設定可能です。
スイッチ共通	インターロック機能	○	[インターロック中表示]は設定できません。
	ディレイ機能：ON ディレイ	○	[ディレイ中表示]は設定できません。
	ディレイ機能：OFF ディレイ	○	
	ディレイ機能：2 度押し	○	
	オプション：反転表示	×	
	オプション：ブザー音	○	
	オプション：AUX 出力	○	
ランプ機能		×	
カラー		×	
銘板		×	
形状選択		×	
アニメーション機能		×	

39.2 設定メニュー

ハンディタイプGPにファンクションキーを設定したい

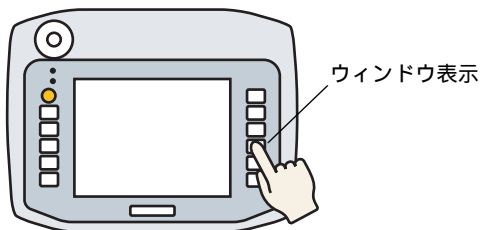
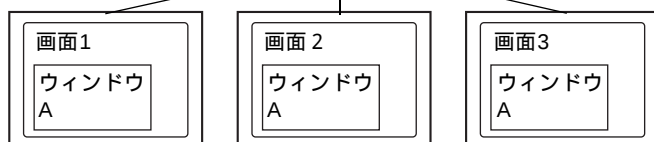
ハンディタイプ GP のファンクションキーによく使うスイッチやキーの機能を割り付けます。



- ☞ 設定手順 (39-6 ページ)
- ☞ 詳細 (39-5 ページ)

ハンディタイプGPにすべての画面で共通のファンクションキーを設定したい

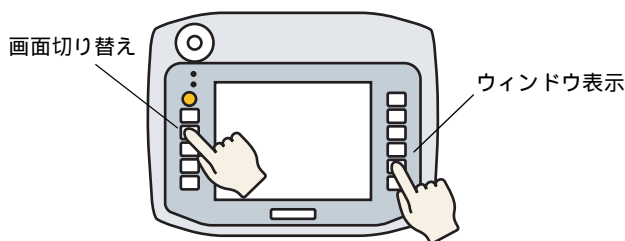
どの画面で使用しても同じ操作ができる



- ☞ 設定手順 (39-9 ページ)
- ☞ 詳細 (39-8 ページ)

39.3 ハンディタイプ GP にファンクションキーを設定したい

39.3.1 詳細



ハンディタイプ GP のファンクションキーによく使うスイッチやキーの機能を割り付け、その画面だけで使用できるローカルファンクションキーとして設定します。

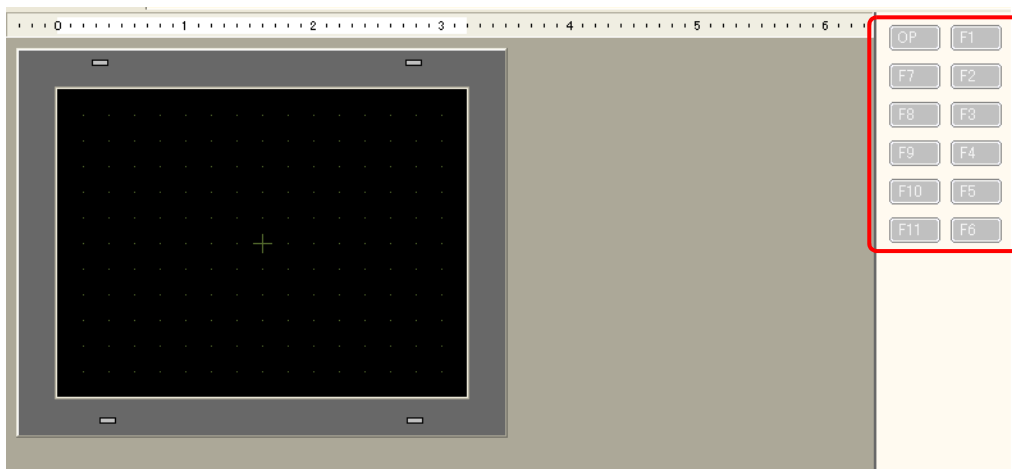
ここでは F1 スイッチに画面切り替えスイッチを設定します。

MEMO

- オペレーションスイッチ（OP）を押したときのみファンクションキーの操作やタッチパネルのタッチ操作を受け付けるよう設定することもできます。
☞「39.6.2 システム設定ウィンドウ [表示器設定] - [操作設定] の設定ガイド」(39-13 ページ)
 - 1 つのファンクションキーにローカルファンクションキーとグローバルファンクションキーを両方割り付けることもできます。
☞「39.4 ハンディタイプ GP にすべての画面で共通のファンクションキーを設定したい」(39-8 ページ)
-

39.3.2 設定手順

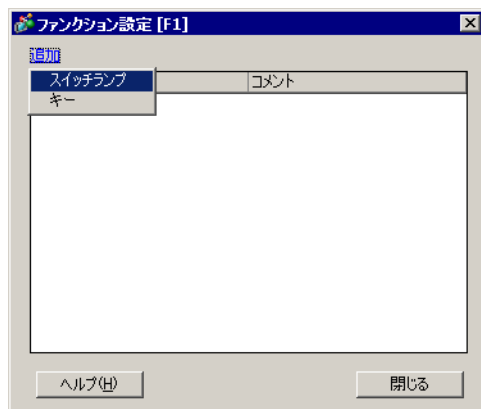
- 1 作画画面に表示されたファンクションキーの中から、機能を割り付けたいスイッチをダブルクリックします。(例：F1)



MEMO

- 表示されるファンクションキーの数は、表示器の機種によって異なります。
- オペレーションスイッチ（OP）にも機能を割り付けることができます。

- 2 次の画面が表示されるので、[追加]をクリックします。
[スイッチランプ]を選択し、クリックします。



3 部品 ID が追加されます。ダブルクリックするとスイッチの設定画面が表示されます。



MEMO

- 登録した部品を削除するには、削除したい部品を選択し右クリックします。表示されるメニューで「削除」を選択してください。

4 画面切り替えスイッチの設定を行い [OK] をクリックします。

MEMO

- スイッチ部品の設定については以下を参照してください。
☞「10 章 スイッチ」(10-1 ページ)
- [AUX 出力] を設定した場合、変換アダプタはハンディタイプ GP と通信して出力処理を行うため、外部ブザー出力のタイミングが実際にスイッチを押すタイミングより遅れる場合があります。また、外部ブザー出力は、ファンクションキー、タッチの両方で有効です。
- 外部ブザー出力はタッチブザーの鳴動に連動します。

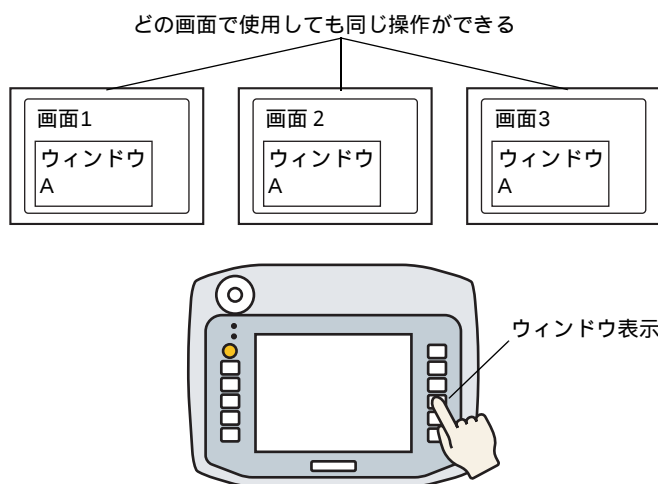
5 「閉じる」をクリックしてファンクションの設定ダイアログを閉じます。

MEMO

- 機能が割り付けられたファンクションキーは黒字に変わります。
- ファンクションキーの動作はシミュレーションで確認できます。
- シミュレーションでは常にオペレーションスイッチは「使用しない」設定になります。

39.4 ハンディタイプ GP にすべての画面で共通のファンクションキーを設定したい

39.4.1 詳細



ハンディタイプ GP に割り付けたファンクションキーの機能を、全ての画面で使用できるグローバルファンクションキーとして設定します。

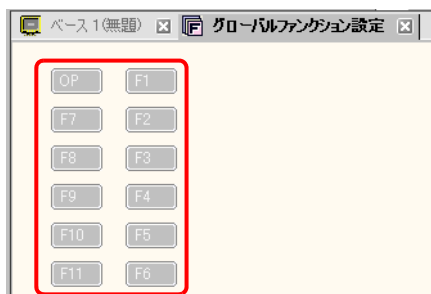
ここでは [F1] キーにグローバルファンクションキーとしてウィンドウ表示スイッチを設定します。

MEMO

- オペレーションスイッチ（OP）を押したときのみファンクションキーの操作やタッチパネルのタッチ操作を受け付けるよう設定することもできます。
☞ 「39.6.2 システム設定ウィンドウ [表示器設定] - [操作設定] の設定ガイド」 (39-13 ページ)
- 1 つのファンクションキーにローカルファンクションキーとグローバルファンクションキーを両方割り付けることもできます。
☞ 「39.3 ハンディタイプ GP にファンクションキーを設定したい」 (39-5 ページ)

39.4.2 設定手順

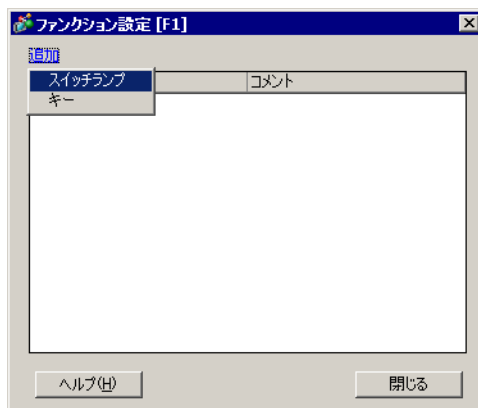
- 1 [共通設定 (R)] メニューの [グローバルファンクション設定 (C)] をクリックすると次の画面が表示されるので機能を割り付けたいキーをダブルクリックします。(例 : F1)



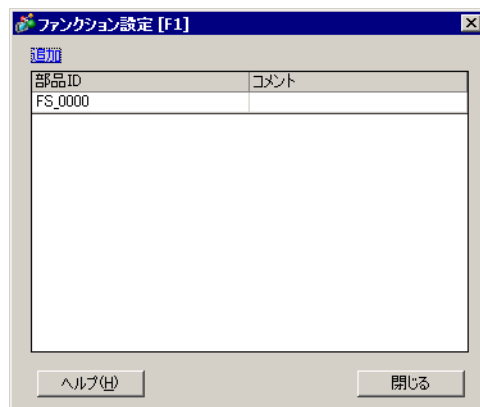
MEMO

- ・ 表示されるファンクションキーの数は、表示器の機種によって異なります。
- ・ オペレーションスイッチ (OP) にも機能を割り付けることができます。

- 2 次の画面が表示されるので、[追加] をクリックします。
[スイッチランプ] を選択し、クリックします。



3 部品 ID が追加されます。ダブルクリックするとスイッチの設定画面が表示されます。



MEMO

- 登録した部品を削除するには、削除したい部品を選択し右クリックします。表示されるメニューで「削除」を選択してください。

4 ウィンドウ表示スイッチの設定を行い [OK] をクリックします。

MEMO

- スイッチ部品の設定については以下を参照してください。
☞「10 章 スイッチ」(10-1 ページ)
- [AUX 出力]を設定した場合、変換アダプタはハンディタイプ GP と通信して出力処理を行うため、外部ブザー出力のタイミングが実際にスイッチを押すタイミングより遅れる場合があります。また、外部ブザー出力は、ファンクションキー、タッチの両方で有効です。
- 外部ブザー出力はタッチブザーの鳴動に連動します。

5 「閉じる」をクリックしてファンクションキーの設定ダイアログを閉じます。

MEMO

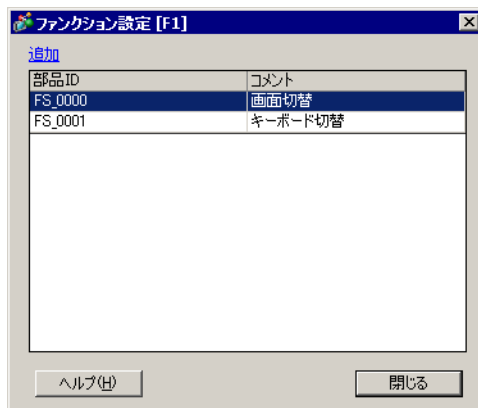
- 機能が割り付けられたファンクションキーは黒字に変わります。
- ファンクションキーの動作はシミュレーションで確認できます。
- オペレーションスイッチはシミュレーションでは動作しません。

39.5 ファンクションキーの動作

- 複数のファンクションキーを同時に押した場合
ファンクションキーの同時押しは2個まで可能です。オペレーションスイッチを有効に設定している場合も、オペレーションスイッチを含めて2個までとなります。
2個のファンクションキーを同時に押した後、3個目のスイッチを押している間に1個のスイッチを離した場合、3個目のスイッチは一度離してから押しなおさないと受け付けられません。
- ファンクションキーに ON ディレイ機能を設定している場合
ファンクションキーに ON ディレイ機能が設定されていて、オペレーションスイッチを有効にしている場合、ON ディレイ時間中にオペレーションスイッチを離すとファンクションキーの機能は実行されません。
- ファンクションキーに OFF ディレイ機能を設定している場合
ファンクションキーに OFF ディレイ機能が設定されていて、オペレーションスイッチを有効にしている場合、OFF ディレイ時間中にオペレーションスイッチを離してもディレイ時間経過後にファンクションキーの機能は解除されます。
- ファンクションキーに2度押し機能を設定している場合
ファンクションキーに2度押し機能が設定されていて、オペレーションスイッチを有効にしている場合、スイッチを1回押した後でオペレーションスイッチを離すと、1回目に押されたスイッチは無効となります。
- シミュレーションでは複数のファンクションキーの同時押しはできません。
- ファンクションキーはセキュリティパスワード入力中は動作しません。

39.6 設定ガイド

39.6.1 ファンクションの設定ガイド



設定項目	設定内容
追加	クリックすると、ファンクションキーに部品を設定できます。スイッチ部品またはキー部品を設定できます。 MEMO - ローカルファンクションキーは、1つのファンクションキーに設定できる部品の数には制限がありません。画面全体でハンディタイプ GP の1画面に配置できる部品数の上限である 384 個を超えた場合、ファンクションキーにもそれ以上部品を追加することができません。リードデバイスの場合は1画面あたり 1152 個を上限にそれ以上追加することはできません。 - グローバルファンクションキーは、それぞれのファンクションキーに最大 384 個の部品が設定できます。またリードデバイスは各ファンクションキーで 1152 個まで設定できます。
部品 ID	設定した部品の ID を表示します。部品 ID は、各部品の設定画面で変更することができます。
コメント	部品に対するコメントを最大 20 文字まで設定できます。コメントは各部品の設定画面で設定することができます。

39.6.2 システム設定ウィンドウ [表示器設定] - [操作設定] の設定ガイド

表示器タイプ	シリーズ	GP3000 Series
	機種	AGP-3300HL
	設置方法	機型

本体設定	
表示設定	[操作設定] 動作設定 ログック設定 システムエリア設定 拡張機能設定 遠隔監視設定
システムパスワードの設定	0 パスワード無し
タッチパネル検出	☒ ON検出 ☐ OFF検出
☒ タッチブザーの音	
☒ 外部ブザー端子への出力	
バックライト切れ検出時のタッチパネル操作	☒ 操作可能 ☐ 操作禁止
オペレーションスイッチ	☐ 使用する ☒ 使用しない
変換アダプタ	☐ 使用する ☒ 使用しない

設定項目	設定内容
オペレーションスイッチ	[使用する] を選択すると、オペレーションスイッチ（OP）を押した状態でのみタッチパネルやファンクションキーからの入力を受け付けます。 MEMO ・オペレーションスイッチは [タッチパネル検出] の設定にかかわらず、押されている間の操作が有効になります。 ・オペレーションスイッチが [使用する] 設定の場合、タッチパネルやファンクションキーからの入力が ON 状態だったスイッチは、オペレーションスイッチを離すと、全て自動で OFF に切り替わります。 ・オペレーションスイッチの設定にかかわらず 2 点押しによるオフラインモードへの切り替えは可能です。 ・オフラインモードでは、オペレーションスイッチの設定にかかわらずタッチやスイッチの操作が可能です。 ・バックライト切れにより操作が禁止されている場合は、オペレーションスイッチの設定にかかわらずタッチやスイッチによる操作ができません。 ・オペレーションスイッチにも部品を設定することができますが、[本体設定] - [操作設定] で [タッチパネル検出] を [OFF 検出] に設定している場合、オペレーションスイッチに設定した部品は動作しません。
変換アダプタ	[使用する] を選択し [F1] キーと [F2] キーを押すと、オプション品の変換アダプタを介して DOUT 出力されます。 MEMO ・変換アダプタはハンディタイプ GP と通信して出力処理を行っているため、DOUT 出力のタイミングが実際にスイッチを押すタイミングより遅れる場合があります。 ・[使用する] を設定すると [F1]、[F2] キーを押したときに強制的に DOUT 出力されます。[F1]、[F2] キーに部品が設定されていない場合も同様です。 ・DOUT 出力はモーメンタリ出力となります。

39.7 制限事項

- ハンディタイプ GP では以下の機能は使用できません。
 - 画面キャプチャ
 - JPEG 表示
 - RPA 機能
 - リモートプリンタサーバ機能
 - ロジック機能
- ファンクションキーはパッケージ登録できません。
- プレビュー画面ではファンクションキーは表示されません。
- ファンクションキーはプロパティウィンドウには表示されません。
- 表示器変更を行うと、機能が割り付けられているスイッチは全てコピーされます。
- ローカルファンクションキーは、1 つのファンクションキーに設定できる部品の数には制限がありません。画面全体でハンディタイプ GP の 1 画面に配置できる部品数の上限である 384 個を超えた場合、ファンクションキーにもそれ以上部品を追加することができません。リードデバイスの場合には 1 画面あたり 1152 個を上限にそれ以上追加することはできません。
- グローバルファンクションキーは、それぞれのファンクションキーに最大 384 個の部品が設定できます。またリードデバイスは各ファンクションキーで 1152 個まで設定できます。
- オペレーションスイッチはシミュレーションでは動作しません。
- [本体設定] - [操作設定] で [タッチパネル検出] を [OFF 検出] に設定している場合、オペレーションスイッチに設定した部品は動作しません。
- 操作ロック機能で操作が禁止されている間は、ファンクションキーは受け付けられません。
- 以下の機能はシミュレーションでは動作しません。
 - オペレーションスイッチの有効 / 無効 設定
(シミュレーションでは常にオペレーションスイッチは [使用しない] 設定になります。)
 - 変換アダプタに関する機能
(DOUT、外部ブザー、号機番号)
- システム設定の操作設定のタッチパネル検出を OFF 検出の場合、オペレーションスイッチに OFF 検出のスイッチを配置すると動作しません。
- ファンクションキーはウィンドウ画面に設定することはできません。
- ハンディ GP - 変換アダプタ間でノイズ等により通信エラーが発生した場合、ブザー、DOUT は ON または OFF にできないことがあります。